

# 当院で胸壁穿通枝皮弁を用いた乳房温存手術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月26日

乳腺科

当院乳腺科では、胸壁穿通枝皮弁を用いた乳房温存手術の有用性に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2011年9月1日～2025年7月31日の間に胸壁穿通枝皮弁を用いた乳房温存手術をされた方

## 1. 研究課題名

「胸壁穿通枝皮弁（CWPF）を用いた乳房温存手術の有用性に関する国際多施設後ろ向き観察研究」

## 2. 研究期間

2025年承認日～2029年9月30日

この研究は、敬愛会倫理委員会の承認を受け病院長の許可を受けて実施するものです。

## 3. 研究の目的・方法

この研究は、「胸壁穿通枝皮弁（きょうへきせんつうしひべん）」という皮膚と皮下脂肪の一部を利用して乳房の形を整える手術方法について、その実際の使われ方や手術後の結果を世界中の病院から集めて調べるものです。

乳房温存手術は、乳がんのしこりを取り除きながら乳房を残す方法ですが、しこりが大きい場合や場所によっては、形がくずれたり、全摘（乳房を全部取る手術）になることがあります。胸壁穿通枝皮弁は、自分の胸や背中近くの皮膚と脂肪を使って形を補う方法で、筋肉を切らないため回復が早く、整った形を保ちやすいとされています。

この研究では、多くの国や施設から手術に関する情報を集めて、この方法の安全性や効果、どのような患者さんに向いているのかを明らかにし、将来の乳がん手術の選択肢

を広げることを目指します。

実際には、過去に胸壁穿通枝皮弁を用いた乳房温存手術を受けられた患者さんの診療記録をもとに、年齢、がんの特徴、手術方法、治療後の経過などを調べます。

あなたの情報はイタリアに提供され、統計解析が行われますが、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置換するなどの加工及び、個人情報の保護に関する法律に準じた安全管理を行います。

日本よりも個人情報やプライバシー等に関する法律や規制が十分でない国・地域の法律や規制は、個人情報保護委員会から公表されています。

( <https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku> )

#### 4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている、腫瘍の位置、大きさ、皮弁の情報、手術時記録、病理結果、合併症の有無、再発の有無

#### 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
イタリア、ヴェネト州がん研究所 IRCCS (Istituto Oncologico Veneto IRCCS)	Massimo Ferrucci

その他共同研究機関に関しては、本研究に関する情報公開のホームページ（英文）をご参照ください。

URL : <https://clinicaltrials.gov/study/NCT06906237?term=NCT06906237&rank=1>

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、研究代表機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

#### 7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

**相談窓口**

〒905-2195

沖縄県沖縄市字登川610番地

社会医療法人敬愛会 中頭病院

乳腺科 阿部 典恵

TEL : 098-939-1300